

パブリック・コメント等の実施状況

資料 1-1

1 次期岩手県食の安全安心推進計画、次期岩手県食育推進計画 策定スケジュール

日程	会議等	内容	
		食の安全安心推進計画	食育推進計画
10月16日（金）	第24回岩手県食の安全安心委員会	基本的方向性について 答申	
11月24日（火）	第25回岩手県食の安全安心委員会		基本的方向性について 答申
11月27日（金）～ 12月26日（土）	パブリック・コメント	計画の素案を公表し、意見を募集	
12月9日（木）～ 12月15（火）	地域説明会	県内4か所（盛岡市、奥州市、久慈市、釜石市）にて説明会を開催し、意見を募集	
2月3日（水）	第26回岩手県食の安全安心委員会	最終案を報告	
2月中旬	2月県議会定例会	承認議案提出	報告
3月下旬		策定	

2 岩手県食の安全安心推進計画 パブリック・コメント等の実施状況

(1) 意見の提出状況と、反映区分

意見提出人数 3 人、意見件数 5 件

<意見の反映状況>

区 分	内 容	意見件数（件）
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの	0
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの	0
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの	4
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの	1
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの	0
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）	0
計		5

(2) 意見の概要

意見の概要については、資料 1-3のとおり。

3 岩手県食の安全安心推進計画（素案）に係るパブリック・コメント等においていただいた主な御意見等について

〔パブコメ（11/27～12/26）、地域説明会（12/9,10,14,15、県内4地区）〕

No.	項目	御意見等の内容	対 応
1	施策 8 (28頁)	<p>施策が14項目ある中で、食育に関するものは施策 8 だけであり不十分だと思います。岩手県内には、全国でも類まれな農林漁業のプロフェッショナルがいます。農薬不使用や有機栽培、無添加製造など、真に持続可能な生産・製造をされている方々のもとで食育の機会を得て、大人も子供も学ぶ必要があると思います。</p>	<p>食品の信頼向上のためには、食育による知識の普及啓発のほか、生産者の様々な取組について県民が理解を深めることが重要です。</p> <p>本計画では、県民の皆様に食料の生産等に関する理解をより深めていただくために、施策 8 「食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発」において、学校における食育の取組や農林漁業体験等の取組等を進めていくとともに、施策 6 「食品の信頼向上のための相互理解の増進」においてリスクコミュニケーションや出前講座等の取組を進めることとしています。</p> <p>なお、食育につきましては、本計画とは別に「岩手県食育推進計画」を策定しております。</p> <p>C (趣旨同一)</p>

No.	項目	御意見等の内容	対 応	
2	施策 4 施策 8 (22頁 他)	<p>農薬不使用や有機栽培、無添加製造など、持続可能な生産・製造について消費者が理解しなければなりません。また、HACCPやGAPを取得していなければ、本当に環境保全型の生産とは言い切れないため、このことについても学ばなくてはならないと思います。</p>	<p>農薬の安全性や、HACCP やGAP等の生産段階における食品の安全性確保の取組についての県民理解の増進を図るため、施策 6「食品の信頼向上のための相互理解の増進」において、リスクコミュニケーションや出前講座等の取組を進めることとします。</p> <p>なお、生産段階におけるHACCP やGAPの取組については、生産される食品の安全性確保の観点から施策 1「生産段階における食品の安全性の確保への支援」に整理のうえ、生産者に対して県が導入支援や指導体制の整備を行うこととしています。</p>	C (趣旨同一)
3	施策 8 (28頁)	<p>イタリアにおける食育等に関する取組を紹介します。</p> <p>このような取組が岩手県発で、日本全国に先駆けて行えたら、日本の食を更に高めていく牽引役になれると思います。</p>	<p>今後の取組の参考とします。</p>	D (参考)

No.	項目	御意見等の内容	対 応	
4	施策5 施策10 (30頁 他)	「ゲノム編集食品」や「遺伝子組換え食品」についての記述がありません。これらについての記述を明記するよう希望します。	<p>遺伝子組換え食品については、国が安全性を確認したものが遺伝子組換え食品であることの表示がされ、流通する仕組みになっています。本計画では施策5「食品の適正表示の推進」において、事業者へ適正な食品表示を指導するとともに、施策10（2）に「食品における残留農薬や添加物等の検査の実施」を掲げ、遺伝子組換え食品であることが適切に表示されているか検査を行うこととしており、遺伝子組換え食品等の検査結果を参考指標Ⅲ－6に設定しています。</p> <p>また、ゲノム編集食品については国において流通前の届出制度が創設されておりますが、食品表示についてはゲノム編集食品と既存食品を科学的に区別することは困難であることから表示義務付けに至っておらず、今後必要に応じて見直しを検討することとされています。このことから本計画には記載していませんが、施策6などに記載のリスクコミュニケーション等により県民理解の増進を図っていきます。</p>	C (趣旨同一)
5	指標 (45頁)	主要指標2「流通食品検査等の基準適合率」 について、基準年度と同じ99.2%を維持すると説明がありますが、適合率は 上げていくべき と思います。	<p>目標値とした99.2%は平成27年度から令和元年度の平均値であり、このうち3か年でこれを下回っています。今回の計画では、毎年度最低でも99.2%を確保することとしており、適合率の向上を目指すものです。</p>	C (趣旨同一)

4 岩手県食育推進計画 パブリック・コメント等の実施状況

資料 1-4

(1) 意見の提出状況と、反映区分

意見提出人数 3 人、意見件数 7 件

<意見の反映状況>

区 分	内容	意見件数（件）
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの	2
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの	0
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの	5
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの	0
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの	0
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）	0
計		7

(2) 意見の概要

意見の概要については、資料 1-5のとおり。

5 岩手県食育推進計画（素案）に係るパブリック・コメント等においていただいた主な御意見等について

〔パブコメ（11/27～12/26）、地域説明会（12/9,10,14,15、県内4地区）〕

No.	項目	御意見等の内容	対 応	
1	計画の位置 付け (1頁)	岩手県は高齢化率が高く、 新型コロナウイルス感染症の拡大 により 高齢者の死亡率も高く なっている。現行計画の記載と同様の言い回しにしてはどうか。	高齢者等の食生活や健康支援の推進については、取り組むべき課題と認識しており、「 新しい生活様式 」に応じた 健全な食生活実践への支援 をはじめ、 高齢者を含んだ生涯にわたる健全な食習慣の形成 に取り組んでいきます。	C (趣旨同一)
2	計画の位置 付け (1頁)	「この間・・・（略）。」の部分について、 内容が良いが、長すぎると感じる。区切って記載 してはどうか。	区切るか否かにより 文章の意味に大きな齟齬はない ため、食の安全安心委員会の審議を経て作成した 素案のまま とします。	C (趣旨同一)
3	県の取組 (12、25 頁)	本ページ中のグラフの 数字が重なっている ので、見やすくして欲しい。	数字が重ならないよう 修正 しました。	A (全部反映)
4	県の取組内 容 (29頁)	食育に関心があるどうかに係る言及はあるが、 取組に係る言及がない 。取組に係るアンケート結果については、 59.2%から66%に向上 しているため、 一定の効果が 出ているのではないか。	県民モニターアンケートにおける食育への関心及び取組に係るデータについて、 年次ごとの変化が分かるデータを追記するとともに、食育の取組についても記載 しました。 また、地域に根ざした食育の推進に向けては、食育に関心を持っていただき、日常的に取り組んでいただくことが重要であることから、県としては、 関心度に係る減少を施策推進に向けた課題の一つと捉え、引き続き取り組んでいきます 。	A (全部反映)

No.	項目	御意見等の内容	対 応	
5	主要指標 (35頁)	地産地消促進計画を策定している市町村数の目標年度が令和4年度になっている。他の指標に係る目標年度は令和7年度だが、なぜか。	<p>本計画は、「いわて県民計画（2019～2028）」長期ビジョン施策を具体化する計画として位置付けています。</p> <p>地産地消促進計画を策定している市町村数については、いわて県民計画（2019～2028）政策推進プランにおいて、令和4年度までに全市町村での計画策定を目標にしています。</p> <p>「いわて県民計画」との整合を図るため、本計画においても、令和4年度を目標年度としていますが、令和5年度以降についても、地産地消の促進という観点から、産直施設による学校給食や医療・福祉施設等への食材供給などによる農林水産物の域内消費拡大に継続的に取り組んでいきます。</p>	C (趣旨同一)
6	全般的事項	県や市町村において、試食機会を多く設けてはどうか。	<p>県としては、農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進や、食文化や食生活の継承等を通じて、岩手の食を体感出来る機会を創出し、食に対する感謝と岩手への愛着を育んでいきます。</p>	C (趣旨同一)

No.	項目	御意見等の内容	対 応	
7	全般的事項	「ゲノム編集食品」や「遺伝子組換え食品」についての 記述がない 。これらについての記述を 明記するよう希望 する。	<p>遺伝子組換え食品については、国が安全性を確認したものが遺伝子組換え食品であることの表示がされ、流通する仕組みになっています。</p> <p>また、ゲノム編集食品については国において流通前の届出制度が創設されておりますが、食品表示についてはゲノム編集食品と既存食品を科学的に区別することは困難であることから表示義務付けに至っておらず、今後必要に応じて見直しを検討することとされています。</p> <p>このことから食育に関する本計画においては記載していませんが、第2章第2節に記載の「食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの推進」等において県民理解の増進を図っていきます。</p>	C (趣旨同一)